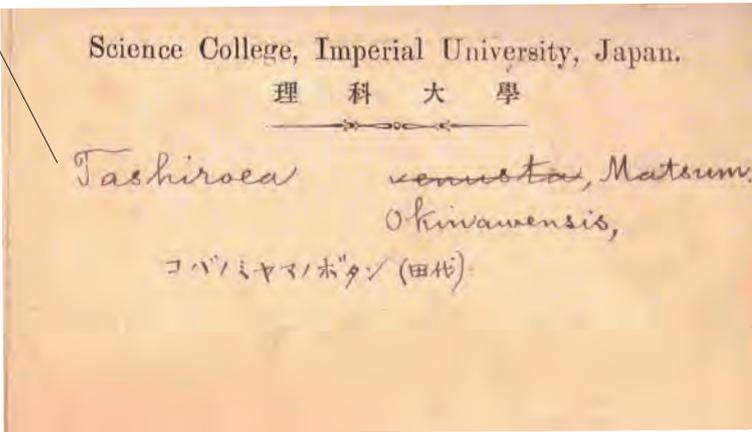


学名：未知

和名：小葉ノミヤマノボタン
(発見者の田代が名付けたもの)

学名：Tashiroea okinawensis, Matsum



(上・下) 1枚のコバノミヤマノボタンの押し葉標本に貼り付けられたラベル。

上：採取地や和名が記載されたオリジナル。

下：新属新種と同定され追加されたラベル。

標本ラベル に込められた 情報を読み解く

大人のための植物講座⑤

2025.

9.23 火

日時

14:00~16:00
(開場 13:30)

講師

米倉 浩司 氏

(一財) 沖縄美ら島財団 総合研究所植物研究室 上席研究員

会場

沖縄県立博物館・美術館
1F 美術館講座室

参加費

500 円

受付

当日先着 (定員 50 名)

お問合せ

098-941-8200

〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

長く保存されてきた標本、特におしば標本のラベルや台紙には、様々な研究者が書き込みをしており、それ自体が学問分野の発展の歴史を物語る遺産です。最近では、標本データベースの公開によって、世界中の標本画像をパソコン上で見られる時代になり、交換などに出されて世界に分散した標本がそれぞれの場所でどう研究されてきたかを総合的に調べられる時代になりました。

今回の講座では、標本ラベル上に書き込まれている様々な情報を読み解く方法と、それによってわかった興味深い事実のいくつかを紹介したいと思います。



ラベルの読み解きとは？
講座に先駆けてラベルの読み方を
ちょこっとご紹介！

【キーワード】 # 植物標本 # 標本ラベル # 植物学



【講師】米倉 浩司 (よねくら・こうじ)

1970年長崎県生まれ。東北大学大学院(博士課程)を修了後、東北大学植物園の助手(のち助教)を経て、2019年より(一財)沖縄美ら島財団総合研究センター植物研究室研究員。博士(理学)。専門は植物系統分類学で、日本で知られる陸上植物の和名と学名のデータベース「YList」を、梶田忠氏(琉球大学教授)と共同で管理している。2022年第30回松下幸之助花の万博記念賞受賞。

【開館時間】 9:00-18:00 (金・土は 20:00 まで)

【休館日】 月曜日 (月曜祝日の場合は翌平日休館)